

ノースジョージア州立大学で IT コンプライアンスの複雑性を緩和

WhatsUp® Gold を導入したノースジョージア州立大学(UNG)では、手作業の面倒なプロセスを自動化し、コンプライアンス監査の基準を満たして効率的な監査を実現しました。統合的な積極監視で問題にも迅速に対処できます。

厳格なシステムの監査基準には手作業では対応が困難

UNGでは、すべてのIPアドレスとシステムに関する綿密な監査を行うという新しい厳格な監査基準を満たす必要がありました。UNGの上級システムエンジニア、マイケル・ロス氏は、効率的に必要な情報を収集し、保存し、最新状態に保持できる方法が必要だと判断しました。バックアップを検証し、セキュリティを維持し、PCIシステムを監視することも必要でした。

それまでUNGのIT部門では、監査のために、様々なアプリケーションを稼働させて16,000名に及ぶ学生をサポートする2つのデータセンターにある、500以上のサーバーについて手作業でインベントリを作成していました。年2回のシステム監査時にはすべてを更新する必要があり、そのたびに2-3週間がとられました。

限られたIT部門の人員で監査に割かなければならない時間は大きな問題でした。誰にも時間的な余裕がなく、自動化が切望されました。IT部門では内部でVBScriptによって書かれたリソース使用率プロセスを利用していましたが、ネットワーク全体の詳細な情報がなかったためエラーが見落とされることがよくありました。

IT部門では、電子メールの監査レポートも毎日、手作業でチェックしなければなりません。すべてのシステムがディスク容量不足と非ホワイトリストのプロセスのチェックのために事前にスケジュールされたVBScriptを走らせているかを検証するためでした。VBScript自体も30分ごとのチェックのため、実際の障害と障害検知による警告との間に大きなギャップがある可能性が高いことも問題でした。

障害と障害報告との間にギャップがあるという問題は、ネットワークに接続するラップトップやその他のモバイル・デバイスの数が急増したことで極めて深刻化しました。IT部門にはネットワークの正確なタイムスタンプ付きの視覚化情報がありませんでした。詳細情報がないまま、小さな障害は知らないうちにどこかに紛れてしまうという可能性もあります。自動化を含め、効率的な新しい包括的監視システムは必須でした。

WhatsUp Gold を導入して監査を自動化

IT部門の負荷を減らすために、UNGは監査プロセスを自動化し、ネットワーク問題が顕在化する前に対処できる統合ネットワーク監視ソフトウェア WhatsUp Gold を導入しました。ネットワークに新しく追加されたシステムは、WhatsUp Gold のスマート・スキャン機能で自動的に検出され、システム名、OSのバージョン、CPU、メモリ、ディスク容量、IPアドレスなどの情報がインベントリ監査リストに自動的に書き込まれます。

ロス氏は、「WhatsUp Gold で5つのキャンパスすべてのシステムのインベントリを自動作成できるようになって、大学のCISO(Chief Information Security Officer)やCIO(Chief Information Officer)に至るまで、システム・エンジニアリング関係者は大変な喜びようでした。特にIT監査が近づいていましたから。」と強調します。



課題

- 監査基準を満たすには煩雑な処理が必要で、手作業によるシステム監査では、州全体に散在するキャンパスの半年ごとの監査に2-3週間もの時間がとられる

ソリューション

- 統合されたスマート・スキャン機能が組み込まれた WhatsUp Gold

結果

- 監査プロセスの自動化
- 新しいシステムは自動的に検出され詳細インベントリに追加される
- レポート作成が簡単で問題に速やかに対処でき、コンプライアンス証明も容易
- 統合された積極監視を実現

WhatsUp Gold で統合された積極監視を実現

ロス氏のIT部門では、WhatsUp Gold を導入したことで、それまで30分ごとのチェックだった VBScript から、2分間隔のポーリングによる全システム監視に切り換えて、積極監視を実現できました。WhatsUp Gold から Google Maps API を使って5箇所に散在するキャンパスすべてのネットワークの状態をリアルタイムで同時に監視できます。CPU、メモリ、ディスク容量などのしきい値を超えたら、2分以内に警告を受けられます。警告が出たらそれぞれの担当者が協力して速やかに対処できるので、システムが応答しなくなってしまうような問題に発展する前に解決することができます。

WhatsUp Gold は、エンドポイントで大学の完全に自動化された資産インベントリ追跡リストを配信する SharePoint チームのサイトにシステム・データをエクスポートします。

UNGのシステム・インベントリ・プロセスは、31機関から成るジョージア州のネットワークの中のスタンダードになりました。これはIT部門にとっては大変名誉なことで、UNGのIT部門はとても誇らしく感じています。

「WhatsUp Gold で5つのキャンパスすべてのシステムのインベントリを自動作成できるようになって、大学のCISOやCIOに至るまで、システム・エンジニアリング関係者は大変な喜びようでした。特にIT監査が近づいていましたから。」

— マイケル・ロス氏
上級システムエンジニア、
ノースジョージア州立大学

イプスイッチについて

イプスイッチのIT管理ソフトウェアは、複雑化するIT環境を中断させることなく運用するという重責を担うIT部門に、業務トランザクション、アプリケーション、インフラストラクチャを高い安全性でコントロールするためのツールを提供します。高機能で柔軟性に富み、簡単に試行できる大変使いやすいソフトウェアです。クラウド、仮想環境、ネットワーク環境での途切れないパフォーマンスでIT部門を支援します。世界100カ国以上でネットワーク、アプリケーション、サーバーを監視するために、そしてシステム、パートナー会社、顧客との間のファイル転送のために、世界中の多くのお客様から信頼を得ています。マサチューセッツ州の本社のほか、米国各地、ヨーロッパ、アジア、中南米に拠点があります。詳しくはホームページ、<https://jp.ipswitch.com/> をご覧ください。

無料試用版をお試しください: <https://jp.ipswitch.com/forms/free-trials/whatsup-gold>